

セッション8：地域研修・校内研修ワークショップ ワークシート

地域研修・校内研修案を考えましょう

3月9日（火）		大阪会場	（ H ）グループ
地域研修・校内研修の概要			
1	目的	<p>教員全体で情報モラル教育を行うために、各教科の中での指導方法を検討してもらう。</p> <p>そのために、まず情報モラル教育の必要性を知ってもらうことから開始する。</p>	
2	研修対象者	一般教員	
3	研修種別	悉皆研修	
4	回数・実施時期 （年間計画）	<p>全3回 学期に1回を目安にする。</p> <p>（2学期制の学校では、時期を見て実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月から6月 ・ 10月 ・ 1月 	
5	研修時間	90分（質疑時間を含む）×3	
6	具体的内容	<p>①生活安全課の方に来ていただいて、現在のサイバー犯罪の状況などについて話をしてもらい、情報モラル教育の必要性を知ってもらう。 アンケートから学校の実態を知ってもらう</p> <p>②その上で、ワークショップを行い、どのようにHRや総合的な学習の時間に生かしていくか考えてもらい発表をってもらう</p> <p>③実践報告など。次年度への検討</p>	
7	教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態がわかる資料 ・ 学習指導要領 ・ キックオフガイド ・ 情報モラル指導ポータルサイト 	
8	研修形態	<ol style="list-style-type: none"> ① 講演 ② ワークショップ ③ 発表 	

		分	研修内容・活動	資料等
9	1回の展開案 (具体的に記載)	50	<ul style="list-style-type: none"> 現在の情報社会の実態を教員に知ってもらう 	
			<ul style="list-style-type: none"> 数字の資料より、現実のケースを知ってもらうほうがよいので、生活安全課の講演をお願いする。 	
		10	ネットの書き込み。個人情報。プライバシー。	
		20	質疑応答	
		20	<ul style="list-style-type: none"> 情報の教員より、アンケートや生徒の実際の事件などを紹介し、学校の実態について知ってもらう。 	
		20	<ul style="list-style-type: none"> ケータイを2台持っている リアルって知ってますか g r e eのポイント制 出会い系サイトのビデオの結果 生徒の体験絵本 	
		10	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育としてどのような内容が必要か考えてもらう。提出 	
			キックオフガイドの配布	